

1 基本的な考え方・取組の方向性等

【視点3】柔軟な利活用と効率的な管理運営を見据えた公園づくり

【関連実施策35】公園緑地の柔軟な運営による魅力向上

#9 民間のアイデア、ノウハウの効果的な導入の促進

公園緑地の柔軟な利活用や持続可能な管理運営を見据えた整備を推進するため、P－PFIや指定管理者制度、PFI等の各制度を活用して、民間事業者等の多様な主体がもつ柔軟なアイデアや専門的なノウハウの効果的な導入により、維持管理の適正化を図るとともに、地域の新たな魅力となるようなテーマ性のある魅力的な公園づくりを進めます。

～取組内容～

①民間のアイデアやノウハウの効果的な導入の促進に向けた基本的な考え方

a. 民間活力の導入に向けた取組の前提

・公園緑地における民間活力の導入にあたって、公園緑地に対する考え方や役割分担等を民間事業者等と適切に共有し、連携体制を構築していく必要があることから、次に示す事項を整理したうえで、効果的な導入を推進していきます。

・明確なビジョンの共有

対象となる公園緑地の目指すべき姿や具体的な目標、解決すべき課題などを明確に示し、行政と民間事業者等でしっかりイメージを共有すること。

・官民の適切な役割分担

行政と民間事業者等の役割や想定されるリスクをできる限り明確化すること。特に、リスク分担については、リスクを最もよく管理できる者が当該リスクを分担する考え方を基本とする。

・地域のニーズ、課題の的確な把握

地域のニーズや課題を的確に把握するとともに、行政と民間事業者が協力して地域のステークホルダーとの合意形成を図ること。

b. 民間活力の導入に向けた基本的な考え方

・公園緑地への民間活力の導入にあたっては、川崎市緑の基本計画における考え方を基本としつつ、社会状況の変化等を踏まえて、サウンディング調査等を参考に、取組の前提を整理した上で、次に示す考え方を基本として、優先的に民間活力の導入を推進していきます。

Ⅰ. 質の高い公園緑地サービスの提供

公園緑地のサービスや利便性の向上など公園緑地のさらなる魅力向上や効率的・効果的な管理運営につながると考えられるものについて、優先的に民間活力の導入を推進していきます。

Ⅱ. 公園緑地や地域の課題解決

公園緑地がそれぞれに持つ課題や地域の課題、ニーズが明確となっており、その解決に向けて、民間のアイデアやノウハウ等を活用することが有効であると考えられるものについて、優先的に民間活力の導入を推進していきます。

Ⅲ. 費用対効果

現状の市の財政負担以外の新たな負担を極力生じずに、民間活力の導入による事業を実施できると考えられるものから、優先的に民間活力の導入を推進していきます。（将来的には、民間活力の導入により事業収益を生み出すとともに、維持管理の効率化を図り、その収益等を他の公園緑地の維持管理等に配分することで、市内全域の公園緑地の魅力向上や機能の維持、質の向上を図ることを目指します。）

1 基本的な考え方・取組の方向性等

②民間活力導入に向けた各制度の活用

・公園緑地のさらなる魅力向上や地域の課題解決に向けて、設置管理許可やP－P F I、指定管理者制度、P F Iなどの各制度を活用して、必要に応じて各制度の併用などにより、民間のノウハウやアイデアが効果的に発揮されるよう適切な手法を検討し、地域ニーズに応じた公園緑地のサービスや利便性の向上による公園緑地の質の向上を進めます。

<実証実験などの活用>

民間活力の導入にあたっては、公園緑地のさらなる魅力向上や地域の課題解決に向けて、必要に応じて実証実験等を行い、地域との合意形成や事業性の把握を行います。

③民間活力導入に向けた各事業の考え方

・公園緑地における民間活力の導入にあたっては、次に示す各事業の考え方に基づき、民間活力の効果的な導入を進めます。

＊施設整備・管理運営事業

公園緑地の整備・管理運営事業（再整備を含む）等を対象とします。なお、指定管理者を導入している公園緑地等、既に民間活力を導入している公園緑地については、指定管理期間満了等の際に、維持管理・運営方針の見直しや大規模改修の必要の有無等を踏まえ、より最適な民間活力導入手法を検討します。

＊地域課題解決型事業（個別検討事業）

質の高い公園緑地サービスの提供による公園緑地のさらなる魅力向上や地域の課題解決を図るための、P－P F I等を活用をした便益施設の設置等の事業を対象とします。

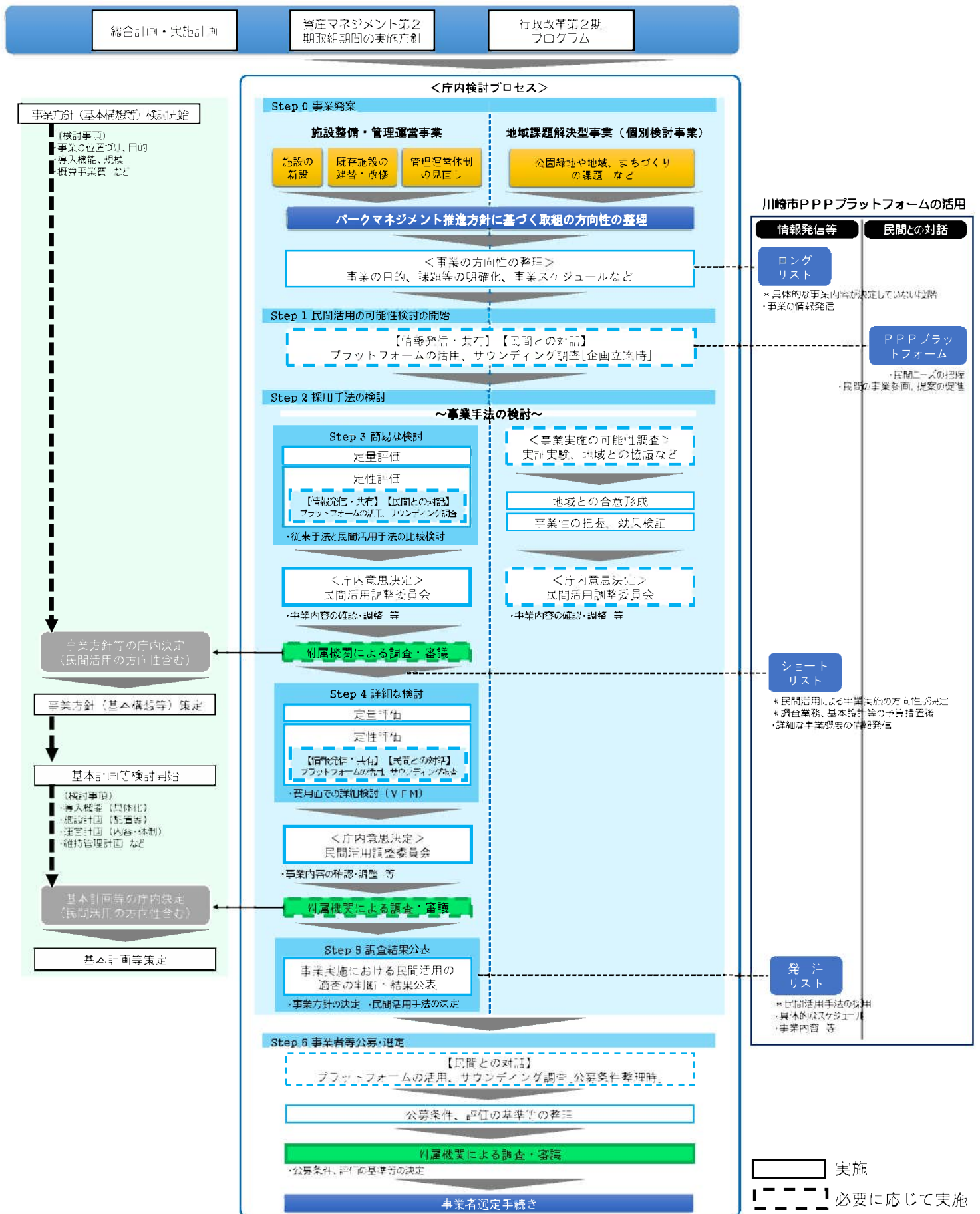
※簡易な維持補修や施設の部分的な改修・増築等、施設整備計画等の策定を伴わない簡易な事業は含みません。

取組を進める主な対象公園緑地：総合公園、運動公園、地区公園、特殊公園（動植物園や墓園等）

一定の規模があり、アクセスがよく、運動施設や駐車場等の有料施設を有するなど、事業性が見込まれ、民間事業者等の持つアイデアやノウハウの活用により収益性の確保・向上と管理運営の効率化の可能性が見込まれる公園緑地を対象とします。また、動植物園や墓園といった特定の目的をもつ公園緑地も取組の対象とします。特に、今後、再整備を予定している総合公園等の大規模公園や、特徴的な施設を有する公園緑地を取組の対象とします。

1 基本的な考え方・取組の方向性等

<参考：公園緑地における民間活用の検討プロセス>



1 基本的な考え方・取組の方向性等

～参考事例など～

●こすぎコアパーク [中原区]

- ・市と東急株式会社が官民一体となって、こすぎコアパーク及び周辺地域のさらなる魅力向上に向けた取組を推進
- ・公園と駅の分断解消による回遊性の向上
- ・設置許可を受けて、飲食も可能な休養施設の設置による日常的な憩いと交流の空間の創出 など



●南池袋公園[東京都豊島区]

- ・区が公園再整備時に、飲食・地域貢献活動の建物を整備
- ・建物は、管理許可を受けて出店者が運営
- ・売上の一部は、地域還元費として地域団体に寄付し地域団体が公園の運営やイベント等を実施

～本市における公園緑地の再整備などの取組事例～

富士見公園における緑、活気、憩い、ふれあいのある都心のオアシスづくり

富士見周辺地区整備推進計画に基づき、富士見公園周辺のまちづくりと連携しながら、都市のオアシス空間として、公園機能の再整備を図ります。

(1) 整備推進の基本的な考え方

- ・整備目標① 富士見公園の再生
- ・整備目標② スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化

(2) パークマネジメントの導入方針

・緑の基本計画で定める「公園等への民間活力導入に向けた方針」などを踏まえ、民間活力の導入を積極的に進め、都市の魅力の向上やまちの賑わいの創出を図るとともに、効率的・効果的な公園の整備・管理運営を目指す。



富士見公園の全景

2 主な対象公園緑地

取組を進める主な対象公園緑地を、次のとおり公園種別ごとにまとめました。

- ・すべての公園緑地において、公園緑地それぞれの立地や地域特性を踏まえて、市民のライフスタイルの変化や価値観の多様化に対応した、柔軟な利活用や様々な分野と連携した取組の推進により、公園緑地の新たな価値の創出とさらなる魅力向上に取り組めます。[＃1、3]
- ・公園緑地の管理状況等を踏まえて、愛護会や管理運営協議会等の地域の活動団体との協働による日常的な維持管理の取組を進めている近隣公園や街区公園においては、地域住民に身近な地域の庭として、地域が主体となって、地域ニーズに応じた利用や協働による管理運営の取組を推進します。また、ボランティア等による緑地保全の取組を進めている樹林地等の緑地においては、協働による管理運営の取組を進めます。[＃4、5、7①]
- ・本市における指定管理者制度の導入状況やサウンディング調査の結果等を踏まえて、一定の規模があり、アクセスがよく、運動施設や駐車場等の有料施設を有するといった公園緑地に対して民間事業者等の事業ニーズが高いと考えられることから、総合公園、運動公園、地区公園、動植物園や墓園等の特殊公園において、民間活力の導入による収益性の確保・向上や管理運営の効率化に向けた取組を進めます。[＃6、7②、8、9]
- ・まとまった樹林地等があり豊かな自然環境を有する都市林などの緑地については、自然共生型の取組による利活用と保全の好循環の創出を推進していきます。[＃2]

主な対象公園緑地

公園種別			総合 (4)	運動 (2)	地区 (6)	近隣 (34)	街区 (1,010)	特殊 (5)	緑地 (206)
規模等			10~50ha標準	15~75ha標準	4ha標準	2ha標準	0.25ha標準	植物園・墓園等	都市林緑道等
取組の 方向性	＃1	民間事業者等の主体による多様な目的での利活用の拡大	○	○	○	○	○	○	○
	＃2	保全緑地における利活用と保全の好循環の創出							○
	＃3	多様な分野の取組と連携した利活用の促進	○	○	○	○	○	○	○
	＃4	様々な機会を捉えた地域が主体となった利用ルールづくりの促進				○	○		
	＃5	市民創発型の取組との連携による協働の裾野の拡大				○	○		○
	＃6	包括型管理運営手法等の導入や新技術等の積極的な活用	○	○	○			○	
	＃7	①維持管理等への貢献に対する一定のメリットを得られる仕組みづくり				○	○		
		②運動・促進施設等の公園緑地面積に対する建築面積の基準緩和	○						
	＃8	公園緑地における収益性の確保・向上と維持管理に係る財政負担の軽減	○	○	○			○	
	＃9	民間のアイデア、ノウハウの効果的な導入の促進	○	○	○			○	

《留意事項》

() = 公園緑地箇所数 (令和2 (2020) 年3月31日時点)

上記分類は、公園種別の規模や特徴を踏まえた基本的な考え方を示したものであり、実際の取組の推進にあたっては、公園緑地の立地や特色、地域の実情等を踏まえて、個別具体的に取り組むべき取組を判断し、必要に応じて、複数の取組を効果的に連携させながら、公園緑地のさらなる魅力向上や地域の課題解決を図ります。

1 公園緑地の概況

(1) 公園緑地の設置箇所数・管理面積の現状

・市内には令和2（2020）年3月31日時点で、計1,267箇所、約759.49haの公園緑地が設置されています。このうち、麻生区では、348箇所、約189.27haと市内全体の約1／4を占めており、麻生区民1人あたりの公園面積も10.49㎡と高い割合となっています。一方、川崎区や幸区、中原区などの市南部地域では、多摩区、麻生区などの市北部地域に比べて、公園緑地数・面積が少なくなっています。

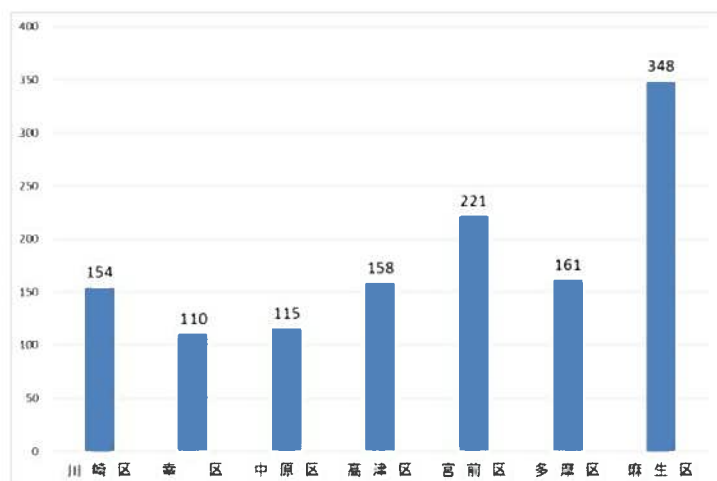
区別の公園緑地数・面積（令和2（2020）年3月31日時点）（面積単位：ha）

区 別		川 崎 区		幸 区		中 原 区		高 津 区		宮 前 区		多 摩 区		麻 生 区		合 計	
公園種別		箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
基幹公園	住区公園	123	24.36	94	11.06	99	9.04	125	12.97	198	23.89	129	13.50	242	28.58	1,010	121.39
	近隣公園	4	7.73	2	3.94	1	1.57	3	5.10	6	9.75	3	4.29	15	28.09	34	60.48
	地区公園	2	11.61	2	9.53	1	4.07	0	0.00	0	0.00	1	3.15	0	0.00	6	28.36
	小 計	129	43.70	98	24.53	101	14.69	128	18.07	204	33.63	133	20.94	257	54.67	1,050	210.23
	総合公園	1	17.05	0	0.00	1	43.59	0	0.00	0	36.88	1	93.27	1	10.47	4	201.25
	運動公園	0	7.23	0	13.19	1	31.75	0	29.28	0	0.00	1	3.26	0	0.00	2	84.71
	小 計	1	24.28	0	13.19	2	75.34	0	29.28	0	36.88	2	96.53	1	10.47	6	285.96
特殊公園	風致公園	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	12.98	0	0.00	0	0.00	1	12.98
	植物園	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	1.24	0	0.00	1	1.24
	広場公園	0	0.00	0	0.00	1	0.11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.11
	墓 園	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	49.47	0	0.00	0	0.62	1	31.10	2	81.19
	小 計	0	0.00	0	0.00	1	0.11	1	49.47	1	12.98	1	1.86	1	31.10	5	95.52
都市林		0	0.00	0	0.00	3	2.30	12	12.82	8	4.72	9	20.25	39	68.40	71	106.45
緑 道		6	2.45	4	2.78	6	1.90	2	0.65	0	0.00	0	0.00	2	0.94	20	8.72
都市緑地		18	4.50	8	0.79	2	0.75	15	1.17	8	11.05	18	8.62	48	25.69	115	52.57
合 計		154	74.93	110	41.29	115	95.09	158	111.47	221	99.26	161	148.19	348	189.27	1,267	759.49
市民一人あたりの公園面積(㎡)		3.21		2.42		3.62		4.77		4.26		6.71		10.49		4.95	
人口(※2,3,31)		233,563		170,969		262,846		233,723		233,043		220,922		180,349		1,535,415	
面積(km)		40.25		10.09		14.81		17.10		18.60		20.39		23.11		144.35	

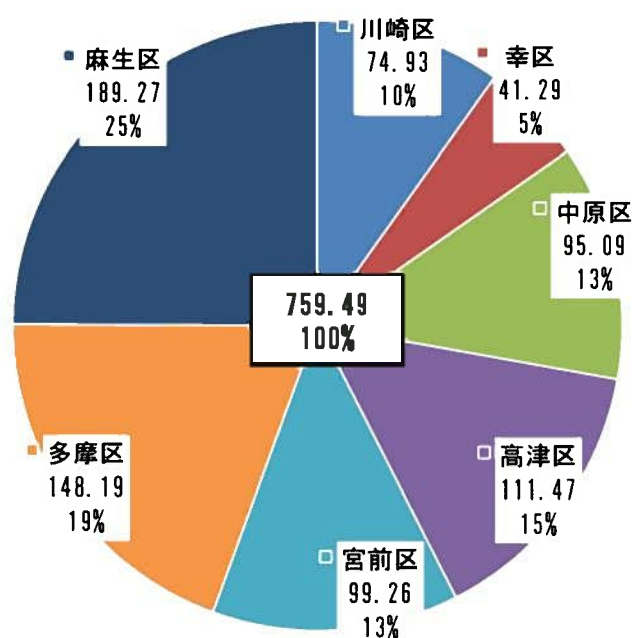
注）面積は㎡で集計し、haに換算後に四捨五入しているため、小計、合計と内訳が一致しない場合がある。

注）複数の区にまたがっている公園（生田緑地、多摩川緑地、緑ヶ丘公園等）は面積の一番大きい区で一箇所とした。

区別 公園緑地設置箇所数（箇所）



区別 公園緑地面積（ha）



1 公園緑地の概況

（２）本市の公園緑地の紹介

◆総合公園（４箇所） 富士見公園、等々力緑地、生田緑地、王禅寺ふるさと公園



市民の休息、観賞、散歩、遊戯、運動など総合的に利用される公園です。自由広場やベンチ、四阿（あずまや）などの休憩施設、花壇や池、噴水などの修景施設、散策路などが設置されており、災害時においては、広域避難場所としての役割をもちます。

◆運動公園（２箇所） 多摩川緑地、稲田多摩川公園



多摩川の河川敷にあり、野球場、サッカー場、多目的広場などが整備された運動公園で、市民のスポーツやレクリエーション、憩いの場として幅広く利用されており、災害時においては、広域避難場所としての役割をもちます。

◆地区公園（６箇所） 大師公園、夢見ヶ崎公園、中原平和公園、稲田公園など



主に公園から徒歩圏内に居住する方が利用する、一定程度の広さのある公園です。地域住民のスポーツや日常的なレクリエーション活動のための施設や広場、ベンチ等の休憩施設、花壇や池などが設置されています。

◆近隣公園（34箇所） 南河原公園、橘公園、鷺沼公園、王禅寺公園など



主に近隣に居住する方が利用する公園です。地域の実情に合わせて、複合的な遊具や多目的広場、ベンチ等の休憩施設が設置されています。

1 公園緑地の概況

◆街区公園（1,010箇所）



主に街区内に居住する方が利用する公園です。地域の実情に合わせて、遊具や広場、ベンチ等の休憩施設が設定されている市民にとって身近な公園です。

◆特殊公園（5箇所） 植物園、墓園など



風致公園や動植物園、墓園等その目的に応じて設置される公園です。本市では、都市緑化推進のための施設である川崎市緑化センターや樹林地をはじめ、7つのため池や湿地空間等の豊かな自然環境をもつ早野聖地公園などがあります。

◆保全緑地（206箇所） 都市林、緑道など



本市における良好な自然環境を形成するほぼ自然のまま維持された樹林地です。散策路が整備されている緑地や、地域住民やボランティアの方々による緑の保全活動の場にもなっています。

2 公園緑地の管理運営手法等

(1) 地域との協働による管理

本市では、除草・清掃等を中心とした美化活動を積極的に行う公園緑地愛護会や地域のお祭りなど公園緑地の利用調整を行う管理運営協議会等による市民協働の取組として、身近な公園緑地において、地域が主体となった維持管理活動を進めています。

愛護会・管理運営協議会の役割

公園緑地愛護会	管理運営協議会
<ul style="list-style-type: none"> ●運営 周辺住民、サークル、自治会等を対象とする ●維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の除草・清掃 ・くずかごのごみ処理 ・花壇の維持管理 ・破損遊具等の連絡 ・不法投棄物の連絡 ・事故時の連絡 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営 自治会、公園利用者グループ等の団体で組織 ●維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地愛護会の役割 ＋ ・行事等の利用調整 ・地表2m程度までの下枝落とし及び低木の刈り込み ・剪定枝の処理 など

(2) 公園緑地の管理運営手法

制度	主な内容	費用負担		具体例	法令等
		民間事業者等の負担	市負担		
公園施設の設置及び管理運営					
設置許可	民間事業者等が公園施設を設置し、管理運営	・使用料 ・公園施設の整備、管理費用		レストランや売店など	都市公園法第5条
P-P-F-I	民間事業者等が公園施設を設置し、管理運営 ※公園施設周辺の園路・広場なども同時に整備	・使用料 ・公園施設の整備、管理費用 ・園路・広場等の整備費（全部または一部）	園路・広場等の整備費（一部）	レストランや売店などに加え、園路・広場等の整備	都市公園法第5条の7
公園施設設置管理協定制度	都市再生整備計画に基づき、滞在快適性等向上区域において、市が行う都市公園の整備等と一体となって、民間事業者等が「居心地がよく歩きたくなるまちなか」となる空間創出のため、協定に基づく滞在快適性等向上公園施設を設置し、管理運営 ※公園施設周辺の園路・広場なども同時に整備	・使用料 ・公園施設の整備、管理費用 ・園路・広場等の整備費（全部または一部）	都市公園、園路・広場等の整備費（一部）	レストランや売店などに加え、園路・広場等の整備	都市再生特別措置法第62条の3
公園施設の管理運営					
管理許可	市が設置した公園施設を民間事業者等が管理運営	・使用料 ・公園施設の管理費用		施設の内装を改装し、レストランや売店として管理運営	都市公園法第5条
指定管理者	公園を含む公共施設を、指定された民間事業者等が管理運営		管理料	公園の維持管理をしながら、自主事業としてイベントの開催や施設を有効活用	地方自治法第244条の2
公園の利用					
行為許可	民間事業者等が公園内でイベント等を実施	・使用料 ・イベント等の開催に係る費用		フェスティバルやマルシェ等の開催	川崎市都市公園条例第3条

3 川崎市の緑について（かわさき市民アンケート）

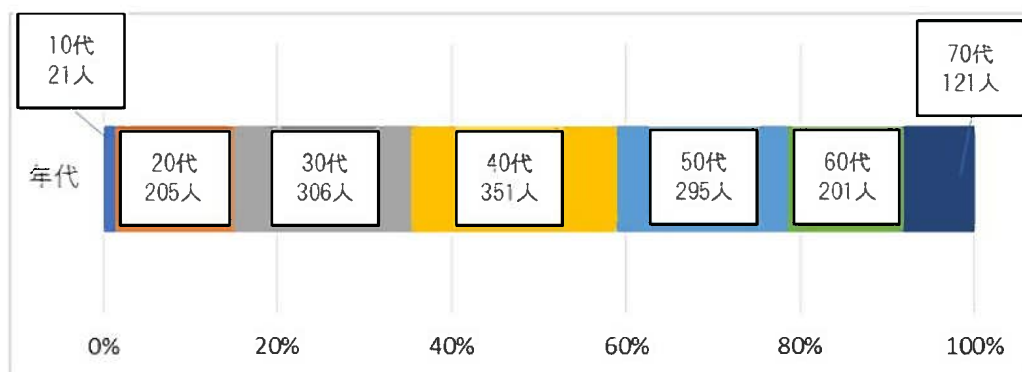
（１）アンケート概要

本方針の策定にあたって、市民の公園緑地の利用状況や利活用に関するニーズ、意見を確認するため、「かわさき市民アンケート」を実施しました。

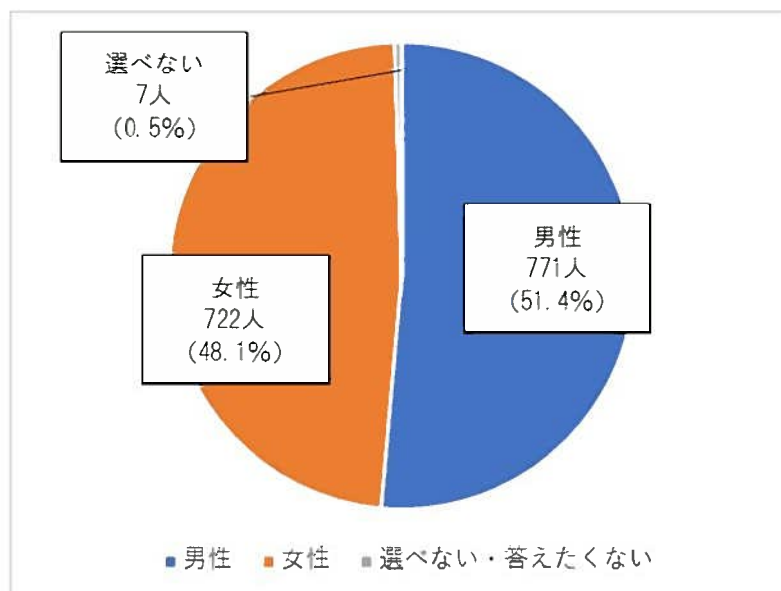
調査目的	川崎市では、緑ある暮らしの創造を目指すために「緑の基本計画」を策定し、都市公園の整備・利活用や緑地の保全、緑化の推進を総合的に推進し、川崎市の緑の満足度向上に取り組んでいます。また、近年の社会状況の変化や市民の皆様の価値観の多様化に対応していくため、公園緑地のより柔軟な利活用や持続可能な管理運営による質の高い公園緑地サービスの提供に向けた取組を進めているところです。こうした取組を着実に推進していくため、川崎市の緑に対する市民の皆様の意識や活動状況、利用実態を把握するとともに、利活用に関するニーズや意見を伺い、今後の取組に反映させるために実施しました。
調査期間	令和2（2020）年9月4日（金）～9月14日（月）
調査対象者	インターネットモニター登録者（川崎市在住の満18歳以上の個人） ※1,500標本回収まで実施
調査方法	インターネット調査

（２）かわさき市民アンケート結果（単純集計）

S Q 1. 年代

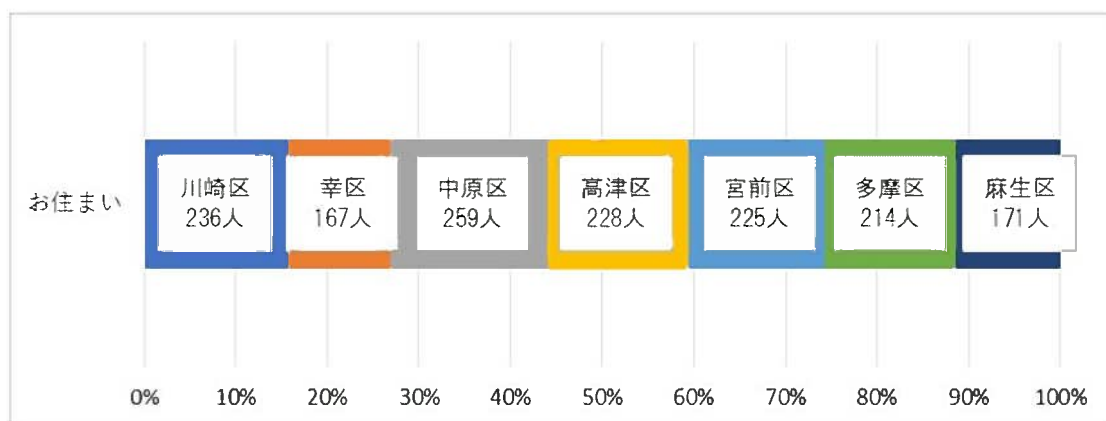


S Q 2. 性別

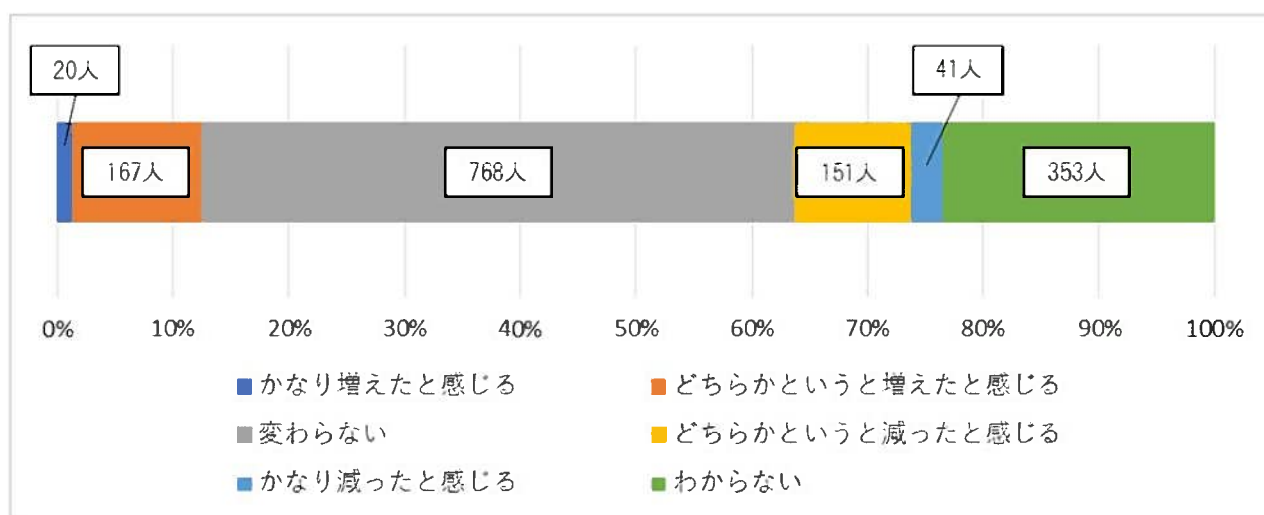


3 川崎市の緑について（かわさき市民アンケート）

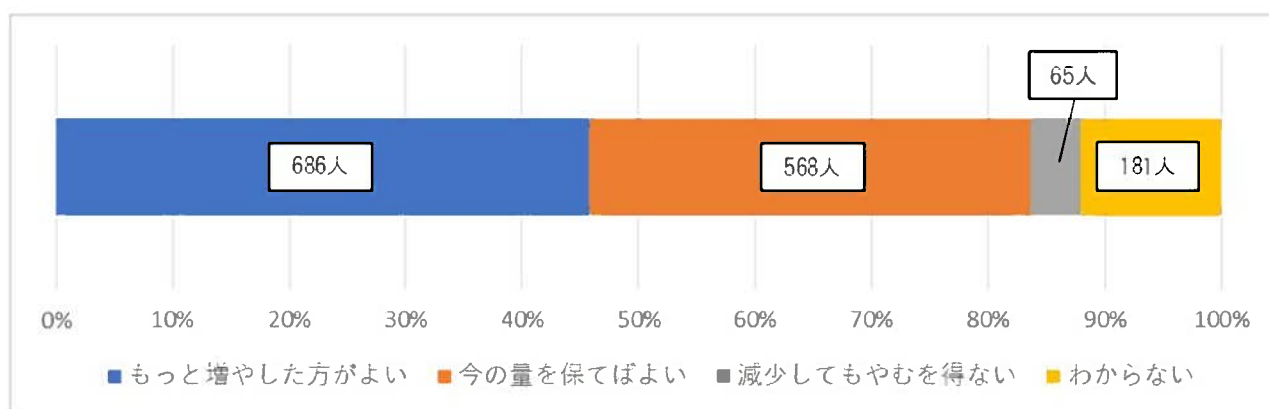
S Q 4. 居住区



Q 1 4. あなたは、平成20（2008）年から現在までの川崎市の緑の変化についてどのように感じていますか。[単一選択]

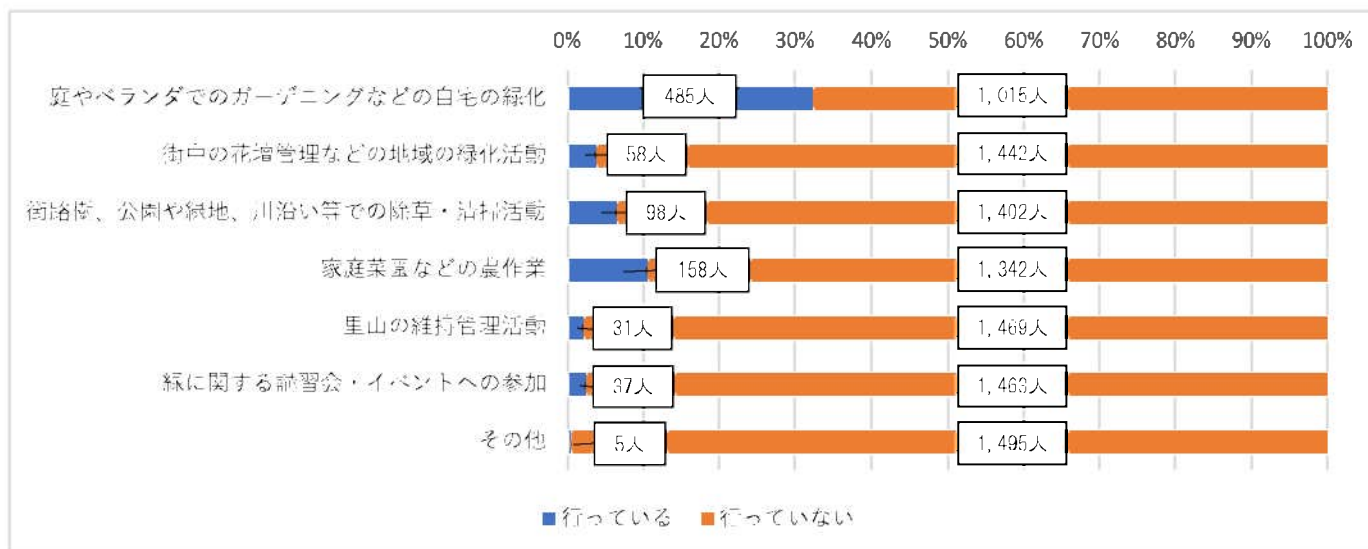


Q 1 5. あなたは、これからの川崎市の緑についてどのように考えますか。[単一選択]

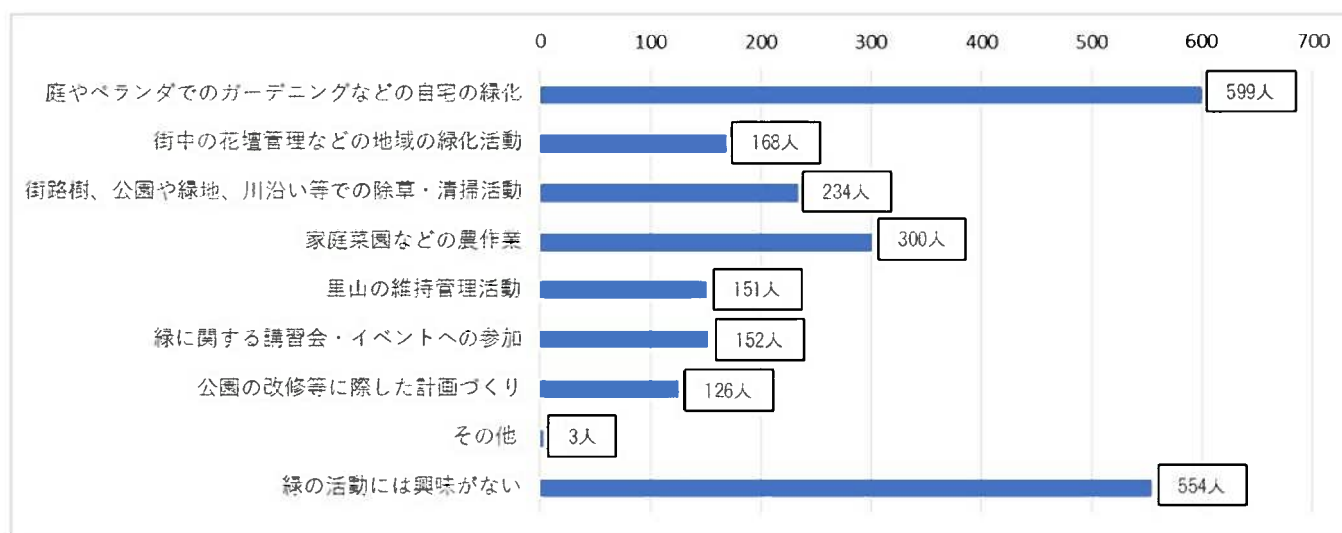


3 川崎市の緑について（かわさき市民アンケート）

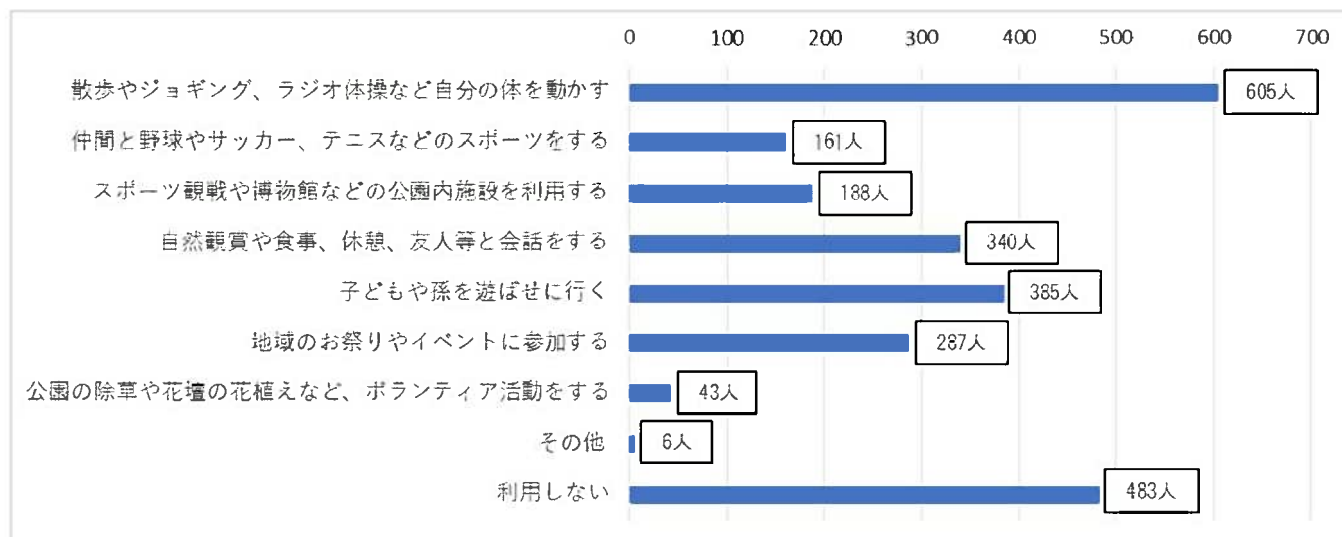
Q16. あなたは、現在、川崎市の緑に関して、次のことをおこなっていますか。



Q17. あなたは、今後、川崎市の緑について、どのようなことに取り組んでみたいですか。してみたいと思う項目をすべて選んでください。[複数回答可]

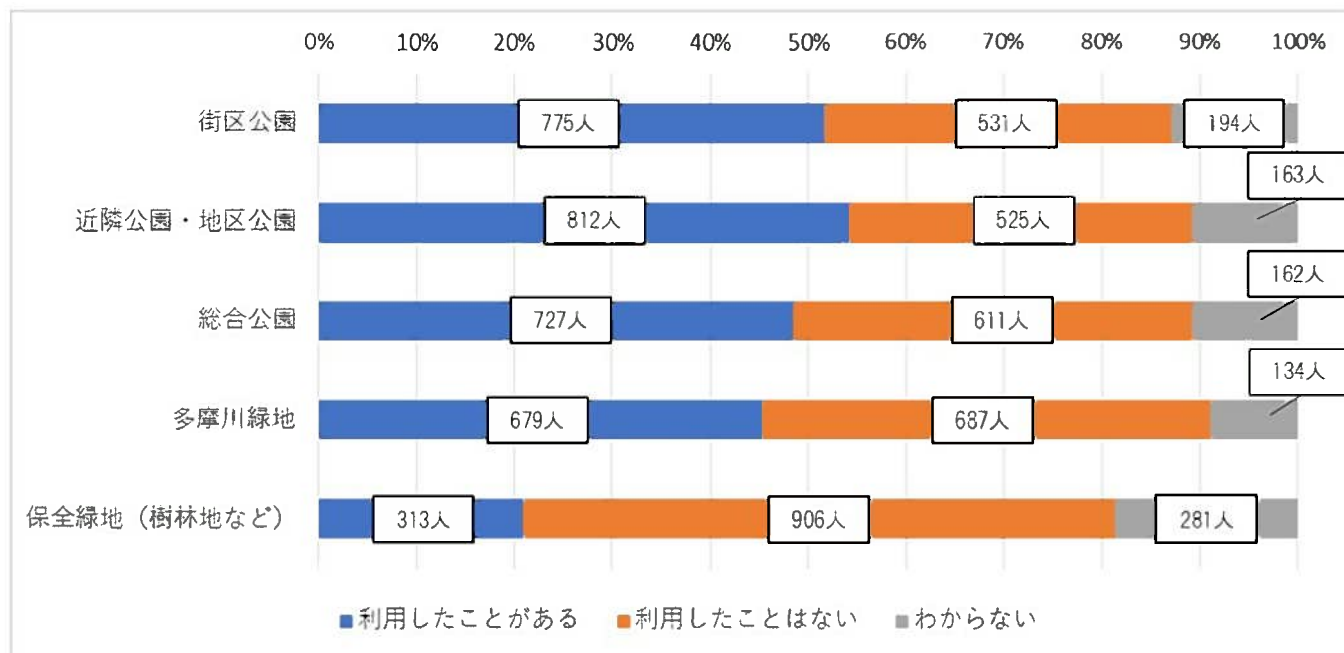


Q18. 川崎市にはさまざまな公園や緑地（以下、「公園緑地」といいます）がありますが、あなたは公園緑地を次のどのような目的で利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。[複数回答可]

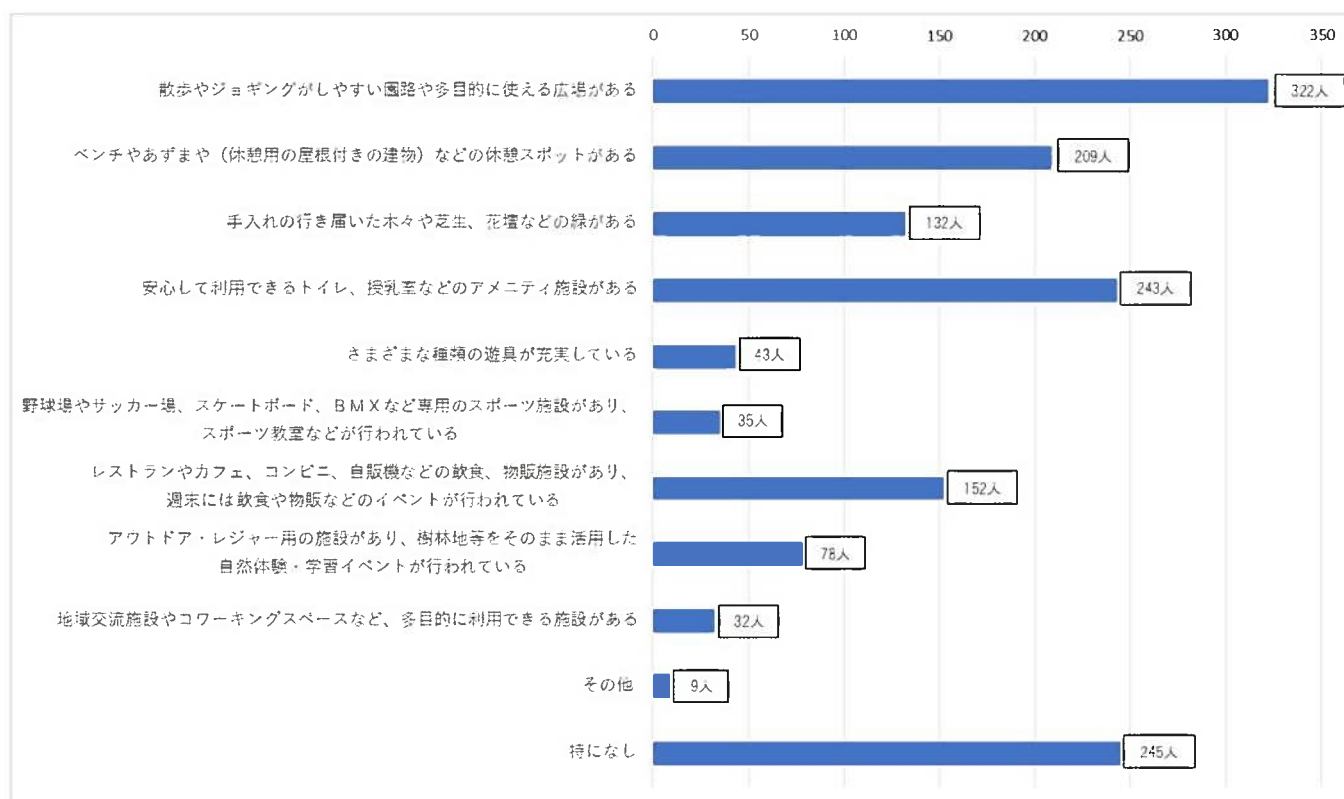


3 川崎市の緑について（かわさき市民アンケート）

Q 19. 川崎市には以下の公園緑地があります。あなたは、それぞれの公園緑地を利用したことがありますか。



Q 20. あなたが、公園緑地に求めるもの（充実してほしいもの）を次の項目の中から1つだけ選んでください。[単一選択]



4 川崎市緑の基本計画・実施計画との対応関係

緑の基本計画・緑の実施計画		パークマネジメント推進方針	
プロジェクト	実施施策	取組の方向性	
1 多様な主体と連携する協働プログラム推進プロジェクト	1 緑の活動への多様な主体の参加と持続可能な活動の推進	#5	市民創発型の取組との連携による協働の裾野の拡大
11 緑による地域コミュニティ形成プロジェクト	30 地域コミュニティ形成の推進	#4	様々な機会を捉えた地域が主体となった利用ルールづくりの促進
		#7	運用基準の構築や基準緩和等による公園緑地の利便性の向上①
12 活力ある緑のまちプロジェクト	35 公園の柔軟な運営による魅力向上	#1	民間事業者等の主体による多様な目的での利活用の拡大
		#3	多様な分野の取組と連携した利活用の促進
		#6	包括型管理運営手法等の導入や新技術等の積極的な活用
		#7	運用基準の構築や基準緩和等による公園緑地の利便性の向上②
		#8	公園緑地における収益性の確保・向上と維持管理に係る財政負担の軽減
		#9	民間のアイデア、ノウハウの効果的な導入の促進
13 広域的な緑の魅力向上プロジェクト	36 緑と一体となった地域資源の保全・活用	#2	保全緑地における利活用と保全の好循環の創出

5 策定体制

庁内検討会議構成員

	部署	職名
座長	建設緑政局	緑政部長
構成員	総務企画局	都市政策部企画調整課企画調整担当課長
		公共施設総合調整室施設企画担当課長
		行政改革マネジメント推進室民間活用担当課長
	財政局	財政部財政課長
	市民文化局	コミュニティ推進部協働・連携推進課長
	各区役所	道路公園センター管理課長
		道路公園センター整備課協働推進担当課長
	建設緑政局	総務部企画課長
		総務部企画課みどり活用担当課長
		緑政部みどりの企画管理課長【事務局】
		緑政部みどりの協働推進課長
		緑政部みどりの保全整備課長
		緑政部多摩川施策推進課長
		緑政部霊園事務所長
		緑政部夢見ヶ崎動物公園長
		生田緑地整備事務所長
		等々力緑地再編整備室担当課長

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

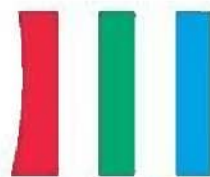
川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市